

51. ドナー非特異的抗HLA抗体の生着に与える影響

研究の概要

HLA不一致移植ではドナー特異的抗HLA抗体(DSA)により生着が不良であることが知られています。HLA-DP、DQなどのHLAタイピング時に通常測定しない抗原などに対する抗体が生着に負に作用する可能性が考えられますが、実情として十分なデータがありません。当院ではDSAを避けた幹細胞移植を行っていますが、抗HLA抗体の有無による生着への影響を調べます。

研究の目的と方法

2006年から2018年10月までの間に、当院で同種移植（初回）を受けられた患者さまに対してカルテデータを用いて抗HLA抗体の有無、ドナーソース、生着までの日数や合併症などを後方視的に解析します。

本研究の参加について

本研究により患者さまに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存のカルテデータ（問診記録、身体所見、検査データ）を用いて実施する研究です。研究対象者（患者さま）の個人情報（氏名、住所、電話番号）は記載せず、個人情報（氏名、住所、電話番号）は記載せず、個人情報は特定されません。

調査期間

研究期間：当院倫理委員会承認日～ 2019年10月31日（調査対象期間：2006年1月～2018年11月）

研究成果の発表

研究成果については、学会、論文などでの発表を予定しています。

研究代表者

血液内科 平野太一

当院における研究責任者

血液内科 平野太一

問い合わせ先

血液内科 平野太一

電話: 096-353-6501